



御幸

よさを学び
やりぬく子供
を育成する学校

第
8号

令和2年10月 6日発行
うきは市立御幸小学校
校長 後藤 重治 文責

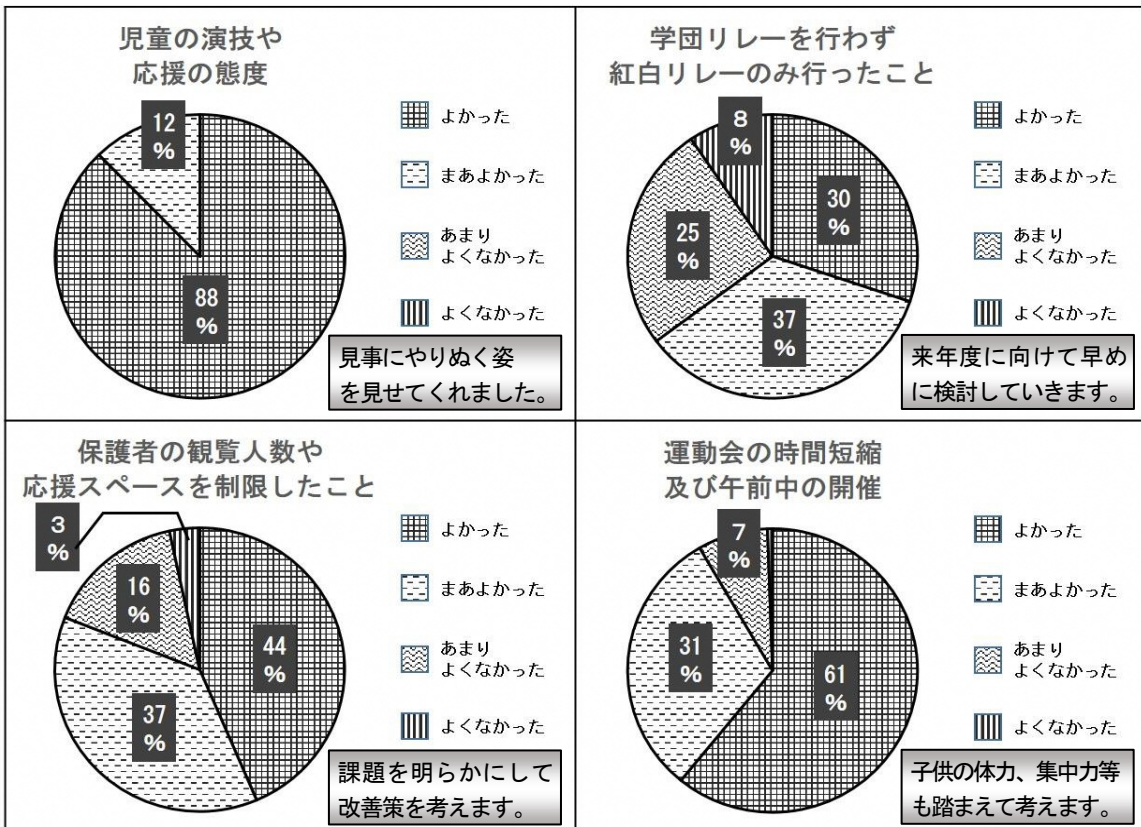
やりぬいて、みんなが笑顔になった運動会・・・最高でした

27日は、これ以上はないというほどの天気恵まれ、無事に令和2年度運動会を開催することができました。保護者の皆様には御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。特に、閉会式後には、例年の倍以上のテントの片付けに多くの保護者の方が協力してくださり本当に助かりました。「よさを学びやりぬく子供を育てる」学校運営には、保護者の皆様の支えが欠かせないことを実感しました。

さて、改めて運動会を振り返ってみると、「スマイル～濃（NO）密な運動会～」そのものだったと思います。一人一人が演技・競技に集中し、そういう姿をしっかり応援することができていました。だから、最後の紅白リレーまで勝敗の行方はわかりませんでした。結果は赤組が勝ちましたが、白組の健闘は赤組と遜色ありませんでした。このような素晴らしい運動会をつくった御幸っ子に「ありがとう」です。



※ 安心・安全メールでお願いした運動会に関するアンケートの結果は以下のとおりです（回答率 59%）。結果や御意見の内容は十分に考慮して、来年度の運動会を考えたいと思います。



※ 裏面もお読みください。全国学力・学習状況調査に関する本校児童の実態を分析しました。

全国学力・学習状況調査の問題から見えてきた課題・・・

第6学年の児童を対象として、毎年4月に実施されている全国学力・学習状況調査については、新型コロナウイルス感染症にかかる状況及び学校教育への影響等を考慮し、今年度は実施されませんでした。ただ、使用する予定であった問題冊子等は、各学校等に送付され、児童の学習状況を客観的に把握し、課題を明確にするために活用することとなりました。そこで、本校も9月8日（火）に国語と算数の問題に取り組みせ、採点をしました。

下表は採点の結果を、昨年度のデータと比較したものです。

	元年度	2年度	令和元年度より、A問題(基本)、B問題(活用)の区分はなくなった。
国語	65 (△1.2)	68 (－)	
算数	65 (▼1.6)	68 (－)	



- ・ 数値は、全問正解を 100 としたときの正答率を表しています。7割弱の正答率でした。
- ・ 元年度の正答率は、うきは市の平均正答率で、△（上回る）と▼（下回る）は全国平均との差を表しています。

国語も算数も7割弱の正答率で、昨年度の全国平均及び市平均を上回っているので、問題の違いを考慮しても悪くはありません。「概ねできている」と捉えてよいと思います。

ただ、基礎基本の確実な定着という観点から分析すると、まだ課題はあります。算数でいえば、以下のような問題ができていない（正答率がかなり低い）ということです。



右の問題は簡単な割合の問題です（字が小さくて恐縮ですが）。40個の50個に対する割合を求めるとのことなので、正解はウの図を選択して80%と答えなければなりません。

この問題について、本校の6年生の正答率は46%でした。半数以上の子供ができていないということが明らかになりました。この結果から分かることは、「割合」の意味、イメージを理解していないということです。そして、割合を計算で求めさせるだけでなく、右の問題のように図で表したり、説明したりすることができるように指導する必要性も明らかになりました。このことを踏まえて、子供一人一人がしっかりと基礎基本を身に付ける指導を充実させていきます。

(1) たくまさんたちは、種を何個まくかを考えています。

去年は、種を50個まきました。そのうちの40個から芽が出ました。

まいた種50個の図 に対して、芽が出た種40個を表している図 はどれですか。下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

また、芽が出た種40個は、まいた種50個の何%ですか。答えを書きましょう。

新しい教室に引っ越しました

30日（水）から、ひまわり学級1組、2組、3組が新しい教室で学習しています。照明も増えた明るい教室で、子供たちは新たな気持ちで学習に取り組んでいます。今週中には、北側のトイレも完成する予定です。21日の学習参観の折に御覧ください。